

**ポスト・コロナにおける
東京の構造改革 有識者会議**

令和2年10月9日（金）

第2回 Web会議

本日の次第

- 小池東京都知事挨拶
- 第1回 W e b 会議の振り返り
- 意見交換

ポスト・コロナにおける東京の構造改革 有識者会議

(敬称略・五十音順)

氏 名	所 属
秋池 玲子	ボストン コンサルティング グループ マネージング・ディレクター&シニア・パートナー
大洞 達夫	アロボ・インターナショナル株式会社 代表取締役
芹澤 ゆう	株式会社フォルマ 代表取締役社長
出口 治明	立命館アジア太平洋大学 (APU) 学長
中林 美恵子	早稲田大学社会科学部 教授
三木谷 浩史	楽天株式会社 代表取締役会長兼社長 一般社団法人新経済連盟 代表理事
ロバート・アラン ・フェルドマン	モルガン・スタンレーM U F G証券 シニアアドバイザー

都政の構造改革の7つのコア・プロジェクト

Project 1

未来型オフィス実現 プロジェクト

Project 2

5つのレス徹底推進 プロジェクト

Project 3

ワンストップ・オンライン手続 プロジェクト

Project 4

オープンデータ徹底活用 プロジェクト

Project 5

スタートアップ・シビックテックとの協働推進 プロジェクト

Project 6

内部管理事務抜本見直し プロジェクト

Project 7

DX推進体制構築 プロジェクト

第1回Web会議の振り返り①

デジタル化・DX

- 台湾がIDシステムを駆使して、コロナを制御している一方、**日本は、紙に書いてファックスで情報を集めているという惨憺たる状況**。東京が世界で選ばれるためには、コロナをどうやってコントロールするかが重要だが、**システムが古すぎて話にならない**
- システムは既存のものから変えていくというのは無理。ソフトウェアベースのプラットフォームに**スクラッチからやり直したほうが早く、コストも削減できる**
- 行政と**医療・介護**の分野における**デジタル化**が一番遅れている。コロナ対応で一番基盤となる**医療・介護のデジタル化**に民間の投資が向かうことが必要
- **デジタルデバイド**が大きな課題。今後、医療などのセンシティブな情報を扱うことが増えると、**サイバーセキュリティ**に万全を期すことも重要
- デジタル庁という話が出ているが、東京都は国に先んじて影響力を発揮すべき
- **5つのレス**（ペーパーレス、ファックスレス、はんこレス、キャッシュレス、タッチレス）を**目標・期限・責任者**を決めて、一日でも早く実現すべき

第1回Web会議の振り返り②

レジリエンス・リカバリー

- 有事の際には、あらゆる層の人々が連携する「**関東有事協力会**」というような仕組みで政策を行うことが重要
- 大きなダメージを受けている小売業・飲食業・宿泊業は、コロナ前の状態に戻るといったことはない。行政がこれらの**業態の進化**を後押しすべき。
非接触の技術は、労働生産性の改善にもつながる
- オーストラリアでは、蓄電池をつないだVPP（仮想発電所）の整備に取り組み、効果を上げている。新しい技術を活用して、災害時における**電力供給の安定化**を図るべき

ダイバーシティ・グローバル人材

- 海外の優秀な人を集めていくということが重要で、そのためには、ダイバーシティ、**英語教育**が必要。税金が高いことも大きな問題
- 女性活躍の推進は、**クォータ制**を導入して無理してでもやるといったことがなければ進まない
- 世界とのつながりを深くするためには**9月入学**や**留学**
都立大で留学を必須としたり、企業が海外に住んだことがない人を雇わないといったルールを導入したらどうか

第1回Web会議の振り返り③

イノベーション、雇用など

- 産業や生活における**ニーズと技術をマッチングさせる場**や、技術開発のための特区を作ってはどうか
- コロナ禍で、一番恥ずべきことは差別が発生したこと。
これからの社会は**ソフトパワー**が重要となるので、知事の強い**発信力**で東京のイメージを上げると、日本の印象も変わる
- テレワークが進むと、**フレキシブルな雇用体系**というのが絶対必要
- 東京と地方のアクセスとして、お台場に空港を作って、電気飛行機を飛ばしてはどうか
- **プロダクトイノベーション**を**規制改革**で早めれば、新しい雇用を創出することになる

本日は、DX・規制改革を梃子とした**都市としての成長・発展**や、**誰もが輝ける社会の実現**などについて、深掘りして議論

テーマ① 都市としての成長、発展に向けて

- 感染症対策と社会経済活動の両立のために備えるべき都市機能、都市間競争を勝ち抜くために磨くべき東京の魅力には、どのようなものが挙げられるか

〔 スマートシティ、集積の価値、オフィス空間の再定義、公共空間の開放、
都市と地方の連携、文化や価値観などのソフトパワー、複合災害への備え など 〕

- イノベーションを生み出し、国際競争力のある産業を育成していくためには、デジタル技術の活用に加えて、どのような環境整備が必要となるか

〔 Society 5.0、スタートアップとの協働、エコシステム、外国人材・企業の誘致、
第一次産業のスマート化、デジタル活用による生産性向上、産業の新陳代謝 など 〕

- コロナ禍からのダメージから、より良く回復し、持続可能な社会を実現するためには、どのような取組が必要となるか

〔 SDGs、ゼロエミッション、再生可能エネルギー、歩行者や自転車走行空間の充実 など 〕

テーマ② 誰もが輝ける社会の実現に向けて

- テレワークなどの「新しい日常」を定着させ、働き方や暮らしの選択肢が多い東京を創るためには、どのような取組が重要となるか

（ テレワーク、時差勤務、サテライトオフィス、女性活躍、子育て支援、リカレント教育、兼業・副業、硬直的な雇用慣行の見直し など ）

- コロナ禍の影響が顕著に現れている層に対して、どのようなセーフティネットを確保していく必要があるか

（ 高速データ通信網の整備、デジタルデバイド、エッセンシャルワーカー、フリーランス、職業訓練 など ）

- 次代を担う人材が育ち、一人ひとりが個性や能力を発揮することができる東京を創っていくためには、どのようなことが必要となるか

（ デジタル/AI人材の育成、英語教育、留学、STEM教育、オンライン授業、居場所の確保、オープンマインド など ）